

## 1. 装置の特徴

本装置は、接続された線材の抵抗値を高精度ではかるための測定装置です。

被測定線材に低電圧大電流をパルス状に印可し、これによって被測定電線の抵抗値を高精度で計測します。また電流を継続的に流さないため、被測定電線へのダメージはありません。

本装置は、単体で被測定電線に対する抵抗値測定器として、また経時変化測定用のテスターとして GO/NG 判定ができます。

本装置は、PCとUSBケーブルで接続する事で以下の機能が使用できます。

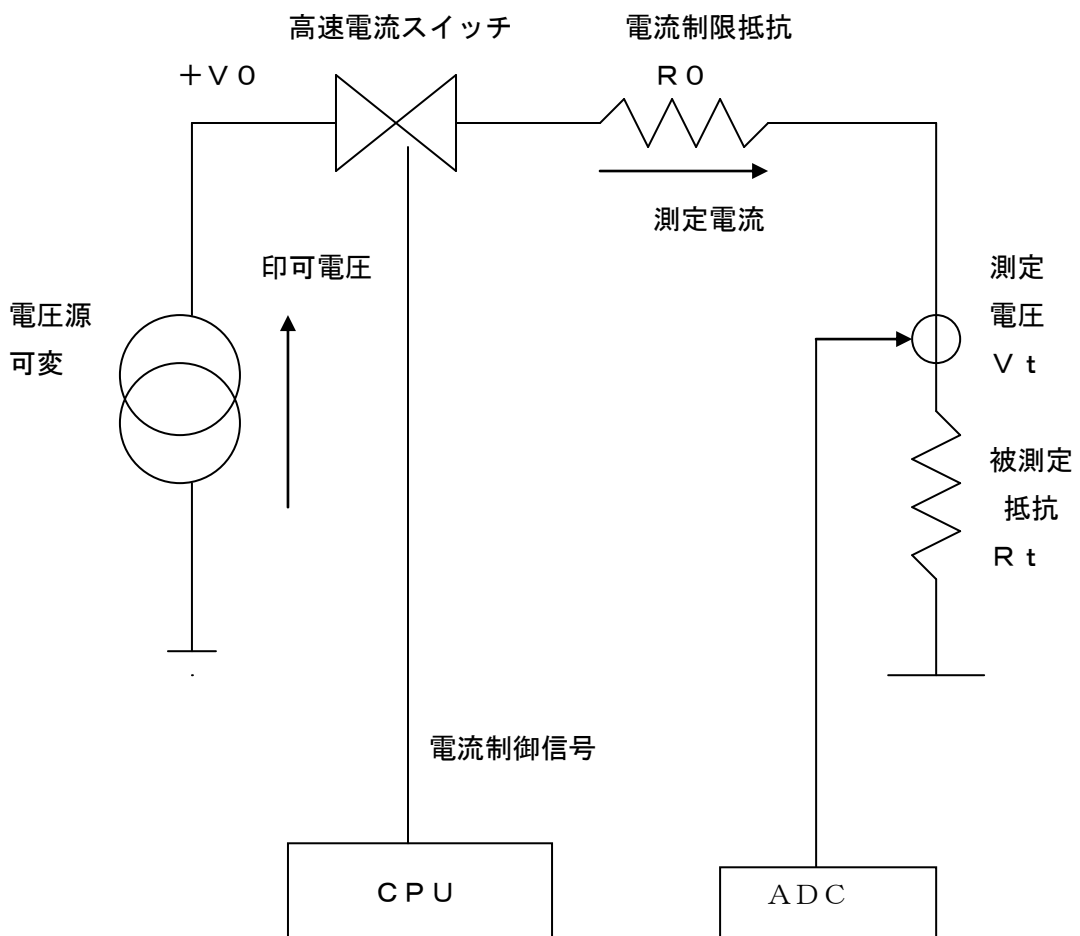
- 連続測定値のリアルタイム表示
- 連続測定値のグラフ化
- 連続測定値の保存と、CSVファイル作成
- 測定方法のリモート保存

### 検出部

- |            |                 |       |
|------------|-----------------|-------|
| 測定チャンネル数   | — 10チャンネル       | (増設可) |
| 最小分解能      | — 10マイクロΩ       |       |
| 測定サイクル/タイム | — 0.1sec/1sec 毎 | (可変可) |

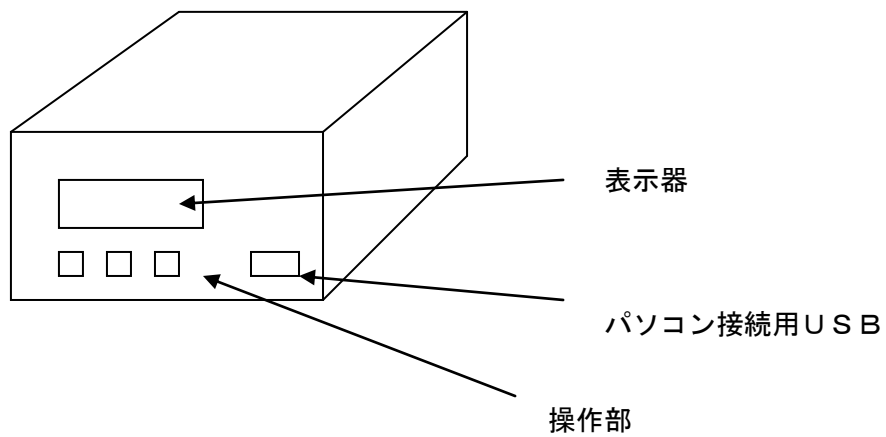
## 2. 測定理論

低い抵抗値を測定するには、被測定物に対してなるべく大きな電流を印可する必要があります。ですがそのまま印可するとケーブルに対して定格電流値を超えるかもしれません。それに対応する為には本機は、電流を測定に必要な期間だけ流し、その間にできるだけ高安定高分解能のADCによって測定することで高精度で安定した低抵抗の抵抗値の測定が可能となります。

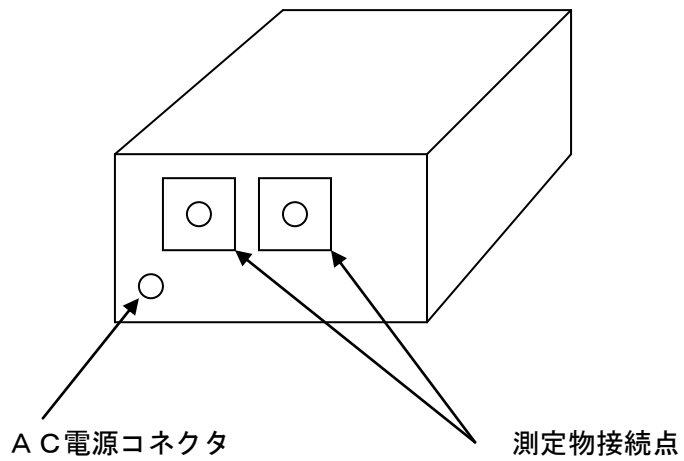


### 3. 装置の構成

前面



裏面



#### 4. 測定上の注意点

本装置は、低抵抗を測定するため被測定配線を接続する際は以下の点に注意し接続してください。

##### 4-1. 被測定配線と本装置間の配線

本装置は測定点は標準で引き出し線接続部にあります。また、測定点外部切り替え機能があり測定点を外部へ変更することができます。

引き出し線は抵抗値を最小にするため、断面積が10mm<sup>2</sup>以上の物を使用してください。

##### 4-1-1. 測定点が引き出し部の場合

引き出し線と被測定電線との接触抵抗と、引き出し線の抵抗値がオフセット抵抗になります。

抵抗オフセット値に、上記抵抗値を設定するとより正確な測定値が計測できます。

##### 4-1-2. 測定点が外部モードの場合

外部測定は、ノイズ等により測定値がばらつく場合があります。配線は指定のシールド線を使用して行って下さい。

抵抗オフセット値は、測定線材との接触抵抗を設定して下さい。

##### 4-2. より正確な抵抗値を測定するには

## 5. PCとの接続 及び操作方法

拡張機能を利用するには付属のCDから制御ソフトをインストールします。

アイコンをクリックし実行します。

\*\*\*詳細は、詳細仕様決定後になります。\*\*\*